

第 82 期

業務報告書

令和7年4月1日～令和8年3月31日



長岡まつり大花火大会 - 正三尺玉&ナイアガラ



長岡信用金庫

ごあいさつ



会員の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第 82 期の事業内容と決算について、ご報告申し上げます。

令和 7 年度は、日本銀行による物価上昇と賃金の伸びが確認されたことより、政策金利は 0.25% 引き上げにより 0.75% となり「金利ある世界」が加速されました。賃金の伸びが物価上昇に追い付かない状況が続いていましたが、ガソリン・光熱費の価格低下により、ようやく実質賃金がプラスとなり、個人消費増加と政府による経済対策効果で成長が期待されました。ところが 3 月に米国・イスラエルのイランへの攻撃による諸物価の上昇、実質賃金のマイナスと世界各地での不確実性が高まることより景気減速も予想されます。

さらに国内では人口減少・高齢化等の構造的な問題と人手不足により、地域経済においては引き続き厳しい環境に置かれた事業所も多くあります。こうした状況下、当金庫は地域経済の要として事業者を支えることを通じて取引先が抱えている課題を的確にとらえて付加価値の高い支援を提供して来しました。

業績面では年度末預金残高 2,205 億円（前期比 3 億円増加）、貸出金残高 895 億円（前期比 5 億円増加）となりました。

一方、収益面では金融市場の急激な悪化に伴い、保有有価証券に対し 28 億円の大規模な損失処理（ロスカット）を実施したことから当期純損失 2,319 百万円の赤字決算となり、物価高騰や国の財政不安等による急激な国債市場の反応とは申せ、誠に申し訳なく心よりお詫び申し上げます。

なお、金融機関の健全性を示す指標である自己資本比率は国内基準 4% を大きく上回る 12.92% となっておりますし、今期の損失処理は来期以降の収益安定化につながるものと考えています。

令和 8 年度は、引き続き地域取引先への実情に応じた支援と地域経済の安定、成長に努めることを重要課題として取組み、当金庫の将来への持続・安定した経営に向けて中期経営計画の 3 年目のもと、強みでもある「協同組織性」「中小企業専門性」「地域性」の特性を改めて理解・発揮して他金融機関との差別化を図るとともに、DX、AI などの新しいことも取り入れ、厳しい経営環境の中で地域に信頼され必要とされる信用金庫を目指して役職員一丸となり業務に邁進する所存であります。

新潟労働局より「くるみん」「えるぼし」新潟県より「N i — f u l」の認定を受け、十分とは言えませんが職員の待遇と職場環境の改善は図られています。引き続き、変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和 8 年 6 月

理事長 **山田 敬司**

総代会に関する事項

令和 7 年 6 月 18 日 第 81 期通常総代会を開催し、次の事項について付議しました。

- 報告事項 第 81 期（令和 6 年度）業務報告・貸借対照表及び損益計算書報告の件
- 決議事項 第 1 号議案 剰余金処分案承認の件
第 2 号議案 長期所在不明会員除名の件
第 3 号議案 任期満了に伴う理事選任の件
第 4 号議案 任期満了に伴う監事選任の件
第 5 号議案 退任役員に対する退職慰労金贈呈の件

以上いずれも原案のとおり承認可決されました。

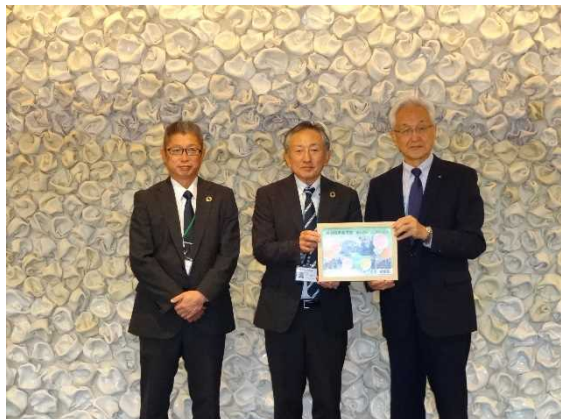
この 1 年のあゆみ

令和 7 年	6 月	6 月 15 日の「信用金庫の日」に向けた地域貢献活動として、毎年、役職員が献血と募金活動に取り組んでいます。
		女性の会員のお客様限定で県内外の有名料理店で美食を味わうことを趣旨とした「味覚の会」を開催しました。
		策定した行動計画を実施し、その計画目標を達成する等、一定の要件を満たし、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣から「くるみん認定」をいただきました。
7 月		年金友の会会員のお客様限定で「年金友の会日帰り旅行」を開催しました。
		長岡まつりに向けて、大手通りの清掃活動「おはようゴミひろい 2025」に役職員が参加しました。
8 月		「長岡まつり・平和祭大民踊流し」に毎年、役職員が参加しています。
9 月		取引先への販路拡大支援の一環として、県内 9 信金共催による対面式ビジネスマッチングフェア「しんきん個別商談会」に当金庫から 7 社が参加しました。
		未来を担う子どもの人材育成のため、長岡市サッカー協会主催の U-9 サッカー大会に協賛し「第 2 回長岡しんきんカップ U-9 サッカー大会」を開催しました。
11 月		榊萌美氏による長岡しんきんビジネスクラブ会員向け講演会「和菓子をつくれない私がつぶれかけの和菓子屋を再建させた話」を開催しました。
		次世代後継者の皆様を対象とした「第 9 期しんきん後継者育成塾」を開講し、取引先 7 社が受講しました。（全 5 回コース：令和 7 年 11 月から令和 8 年 3 月）
令和 8 年	3 月	採用、継続就業、労働時間等の働き方、女性の管理職比率、多様なキャリアコースの 5 つの評価項目すべてを満たし、女性活躍推進に関する取組みの実施状況等が優良であると認められ、厚生労働大臣から「えるぼし認定（3 段階目）」をいただきました。

地域社会への貢献

長岡しんきん地域振興基金による寄贈

長岡市



長岡しんきん地域振興基金による寄贈

小千谷市



長岡市教育委員会への寄贈



地域の皆様に日頃のご愛顧に対する感謝の気持ちと、子供達の健全な心身の発育に資するため、長岡市教育委員会に「おやさいくレヨン」を寄贈しました。

長岡しんきん地域振興基金による寄贈

見附市



長岡しんきん地域振興基金による寄贈

南魚沼市



フードバンクへの寄付

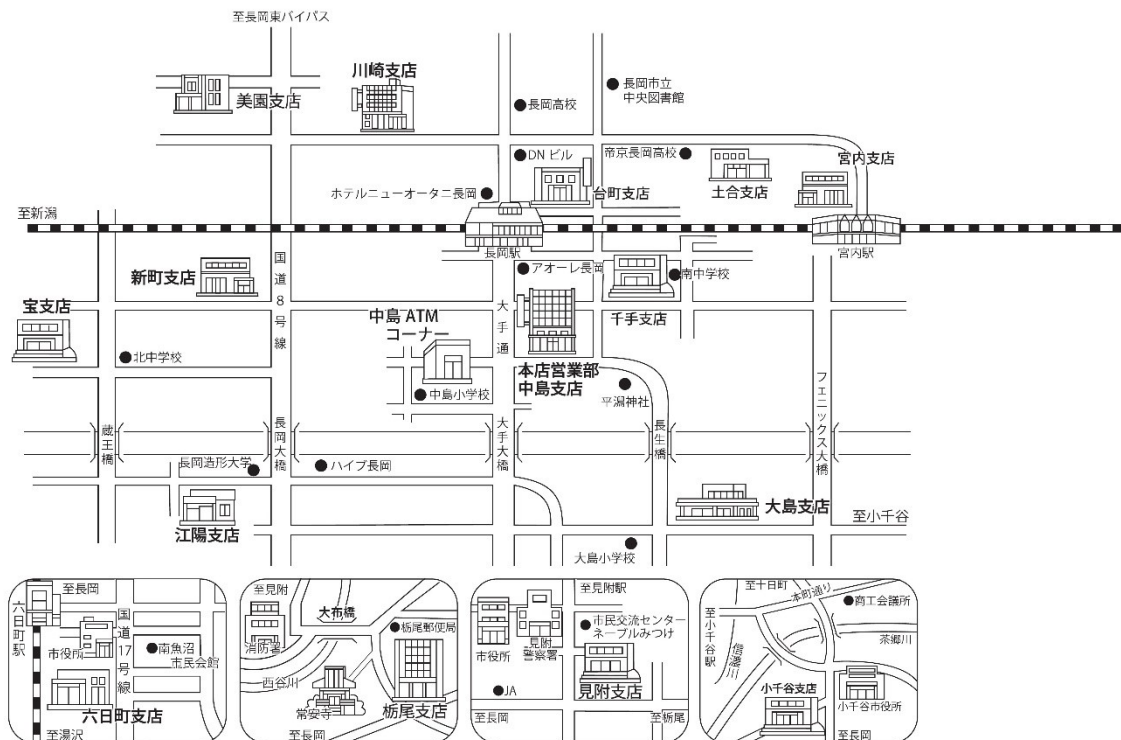


役職員が家庭から食料品、日用品を持ち寄り、「フードバンクながおか」に寄付しました。

店舗のご案内

店舗一覧

店舗番号	店舗名	所在地	電話番号
001	本店営業部	長岡市大手通 2 丁目 4 番地 7	0258 (36) 4343
009	中島支店		
002	千手支店	長岡市千手 2 丁目 1 番 7 号	0258 (35) 0420
003	台町支店	長岡市台町 1 丁目 3 番 7 号	0258 (32) 5480
004	新町支店	長岡市新町 2 丁目 1 番 15 号	0258 (32) 6460
005	大島支店	長岡市大島本町 3 丁目 12 番地 11	0258 (27) 0111
007	川崎支店	長岡市干場 1 丁目 2 番 9 号	0258 (35) 2441
008	宮内支店	長岡市宮内 3 丁目 8 番 6 号	0258 (35) 3141
010	土合支店	長岡市住吉 2 丁目 1 番 27 号	0258 (36) 1037
011	栃尾支店	長岡市谷内 2 丁目 3 番 26 号	0258 (52) 1122
014	美園支店	長岡市美園 1 丁目 2 番 1 号	0258 (36) 8111
015	江陽支店	長岡市下柳 2 丁目 7 番 24 号	0258 (28) 1771
016	宝支店	長岡市宝 3 丁目 1 番地 7	0258 (21) 2200
006	六日町支店	南魚沼市六日町 794 番地 4	025 (772) 4100
013	見附支店	見附市新町 2 丁目 3 番 23 号	0258 (62) 5111
017	小千谷支店	小千谷市城内 2 丁目 9 番 4 号	0258 (81) 1000



貸借対照表

第82期 令和8年3月31日現在

科目	金額	科目	金額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
現金	2,633	預金積金	220,574
預け金	41,633	当座預金	3,703
買入金銭債権	10,247	普通預金	95,662
有価証券	76,615	貯蓄預金	688
国債	4,706	通知預金	8
地方債	9,456	定期預金	111,597
社債	35,158	定期積金	7,519
株式	487	その他の預金	1,393
その他の証券	26,805	その他負債	525
貸出金	89,507	未決済為替借	16
割引手形	99	未払費用	264
手形貸付	3,567	給付補填備金	6
証書貸付	80,597	未払法人税等	1
当座貸越	5,243	前受収益	55
その他資産	1,720	払戻未済金	2
未決済為替貸	12	払戻未済持分	1
信金中金出資金	1,240	職員預り金	68
未収収益	413	資産除去債務	21
金融派生商品	2	その他の負債	87
その他の資産	51	賞与引当金	60
有形固定資産	1,401	役員退職慰労引当金	64
建物	442	睡眠預金払戻損失引当金	14
土地	765	偶発損失引当金	50
建設仮勘定	3	債務保証	33
その他の有形固定資産	190	負債の部合計	221,323
無形固定資産	30	(純資産の部)	
ソフトウェア	25	出資金	541
その他の無形固定資産	5	普通出資金	541
前払年金費用	32	利益剰余金	10,541
繰延税金資産	405	利益準備金	542
債務保証見返	33	その他利益剰余金	9,999
貸倒引当金	△ 613	特別積立金	12,100
(うち個別貸倒引当金)	(△ 570)	(地域振興基金積立金)	(300)
		当期末処理損失金	△ 2,100
		会員勘定合計	11,082
		その他有価証券評価差額金	△ 8,757
		評価・換算差額等合計	△ 8,757
		純資産の部合計	2,324
資産の部合計	223,648	負債及び純資産の部合計	223,648

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

第82期 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

科目	金額	
		千円
経常収益		3,149,336
資金運用収益	2,705,399	
貸出金利息	1,409,984	
預け金利息	213,178	
有価証券利息配当金	973,496	
その他の受入利息	108,739	
役務取引等収益	214,050	
受入為替手数料	78,585	
その他の役務収益	135,464	
その他業務収益	29,384	
金融派生商品収益	2,299	
その他の業務収益	27,085	
その他経常収益	200,502	
貸倒引当金戻入益	171,765	
償却債権取立益	20,559	
株式等売却益	1,226	
その他の経常収益	6,950	
経常費用		5,359,926
資金調達費用	429,428	
預金利息	423,369	
給付補填備金繰入額	5,630	
借入金利息	52	
その他の支払利息	376	
役務取引等費用	164,448	
支払為替手数料	15,740	
その他の役務費用	148,707	
その他業務費用	2,835,266	
国債等債券売却損	2,773,235	
国債等債券償還損	59,360	
金融派生商品費用	885	
その他の業務費用	1,784	
経費	1,888,355	
人件費	1,286,472	
物件費	540,360	
税金	61,522	
その他経常費用	42,427	
貸出金償却	21,920	
株式等償却	227	
その他の経常費用	20,278	
経常損失		△ 2,210,590
特別利益		556
固定資産処分益	21	
その他の特別利益	535	
特別損失		279,339
固定資産処分損	8,403	
減損損失	270,936	
税引前当期純損失		△ 2,489,372
法人税、住民税及び事業税		1,000
法人税等調整額		△ 170,771
法人税等合計		△ 169,771
当期純損失		△ 2,319,601
繰越金（当期首残高）		218,703
当期未処理損失金		△ 2,100,898

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

剰余金処分計算書

第82期 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

科目	金額
	円
当期末処理損失金	2,100,898,142
積立金取崩額	2,200,897,000
特別積立金取崩額	2,200,000,000
利益準備金取崩額	897,000
剰余金処分額	10,804,732
普通出資に対する配当金	(年2%) 10,804,732
繰越金(当期末残高)	89,194,126

以上のとおり報告いたします。

令和8年6月

長岡信用金庫

理事長	山田 敬司
専務理事	本田 直利
常務理事	日山 貴史
常勤理事	佐野 文彦
常勤理事	伊東 心
常勤理事	河田 大介
理事	安藤 栄治
理事	山田 康博

以上監査の結果、適法・正確かつ妥当であることを認めます。

常勤監事	本田 直司
監事	江畑 正人
監事	宮内 竜一

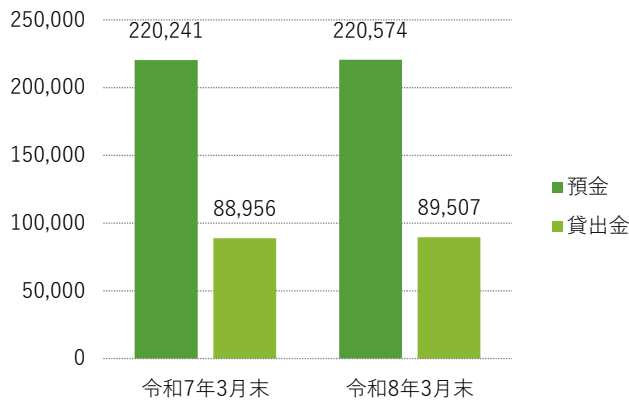
(注) 監事 江畑 正人は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事であります。

第82期事業年度の貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書は、信用金庫法第38条の2第3項の規定に基づき、五十嵐朗公認会計士事務所 公認会計士五十嵐朗氏の監査を受けております。

業績の推移

預金・貸出金の状況

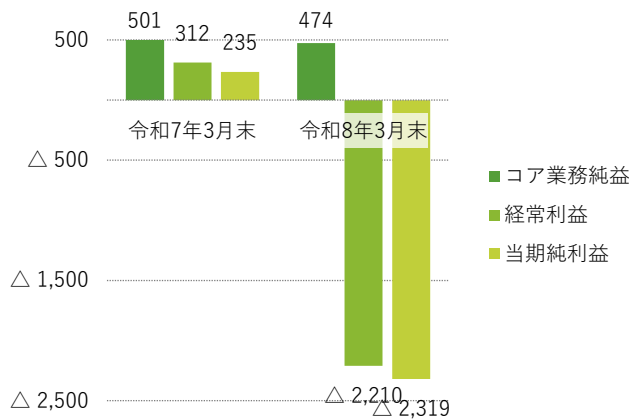
- 預金は333百万円増加して、220,574百万円となりました。
- 貸出金は551百万円増加して、89,507百万円となりました。



預金・貸出金残高 (単位：百万円)		
	令和7年3月末	令和8年3月末
預金	220,241	220,574
貸出金	88,956	89,507

損益の状況

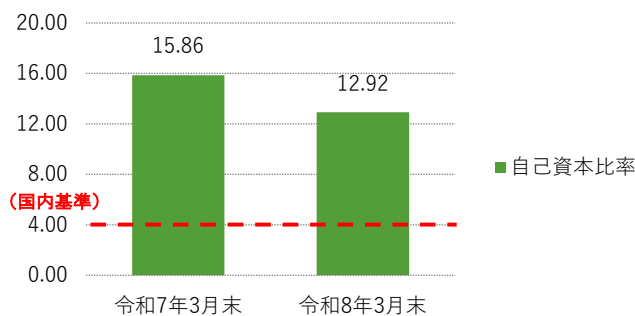
- コア業務純益は474百万円を確保しました。



損益の状況 (単位：百万円)		
	令和7年3月末	令和8年3月末
コア業務純益	501	474
経常利益	312	△ 2,210
当期純利益	235	△ 2,319

自己資本の状況

- 自己資本比率は国内基準（4.00％）を大きく上回る12.92％です。



自己資本の構成 (単位：百万円、％)		
	令和7年3月末	令和8年3月末
自己資本の額	13,485	10,893
リスク・アセット等の額の合計額	84,992	84,276
自己資本比率	15.86	12.92